

ネットサーフィン

1 インターネット

インターネットの起源は、1970年代に米国の国防総省高等研究計画局(DARPA)が出資し構築した ARPANET から始まります。インターネットの語源は Internetworking で、ネットワーク同士を相互に接続することを意味します。日本国内では、大学、研究機関、企業等が所有するネットワークが存在しますが、これらのネットワークは相互に接続されています。さらに日本国内のネットワークは、諸外国のネットワークと接続されています(図 1)。このように、インターネットによって世界中のネットワークが接続され、コンピュータの資源を相互に利用できる仕組みになっています。

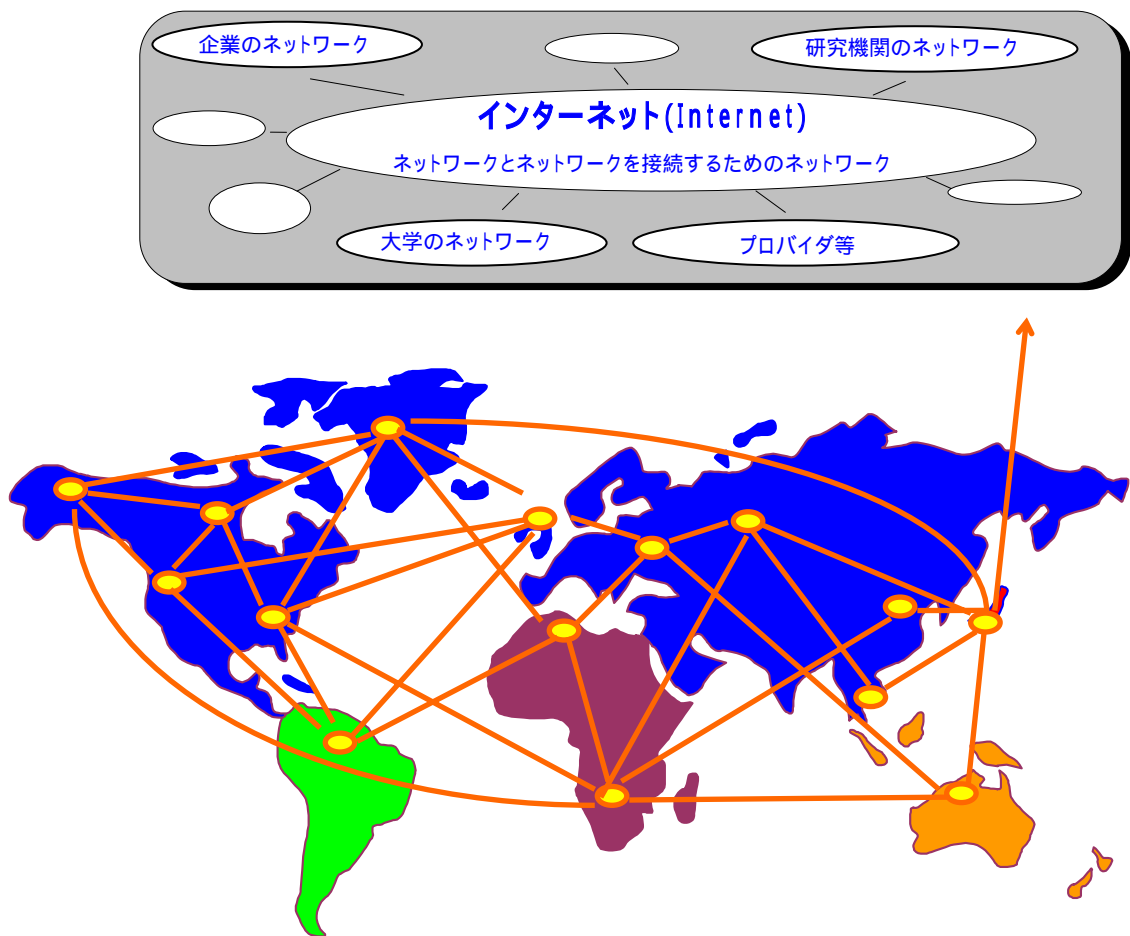


図 1 インターネット(この図は、実際の接続を示すものではありません)

2 インターネットのサービス

インターネットで利用できるサービスは、電子メールやFTPをはじめ、WWWによるWebページの閲覧などがあげられます。さらに、WWWを活用したチケットの予約、銀行の残高照会、情報の検索、テレビ、ラジオ、ゲーム等、様々なサービスを利用することができます。最近では、映像や音楽もインターネットを使って配信される時代になりました。教育システムで利用できるインターネットのサービスを、表 1に示します。

サービス名	現在の状況
電子メール	世界中の人と、メールのやり取りを行えます。
WWW	世界中の情報をアクセスすることができます。ただし、皆さんが作成したホームページは、学内のみ情報発信を行えます。

表 1 教育システムで利用できるインターネットのサービス

3 URL

インターネット上に公開されているWebページをブラウザで表示するためには、その存在場所(アドレス)を指定する必要があります。WebページのアドレスはURL(Universal Resource Locator または Uniform Resource Locator)で示します。最近では、新聞、テレビ、ラジオ等でも <http://www...> などの表示をよく見かけますが、これが URL です。

たとえば、東京電機大学のWebページは、<http://www.dendai.ac.jp/> のようになります。http はプロトコル名、www.dendai.ac.jp は WWW サーバのホストアドレスになります。この後に、さらにパス名等がつくこともあります。


4 WWW

WWW (World Wide Web)は、1989年、CERN(ジュネーブの欧州素粒子物理研究所)のTim Berners-Lee が提案した広域情報システムです。インターネットによるネットワークの接続の様子が、まるでクモの巣が世界中にはりめぐらされているのように見えることから、このように呼ばれています。

5 ブラウザの起動

インターネット上に公開されているWebページを表示するためには、ブラウザ(ソフトウェア)が必要です。代表的なブラウザには、ネットスケープコミュニケーションズ社(現在アメリカンオンラインに吸収合併)のネットスケープナビゲータ(以下ネットスケープ)、マイクロソフト社のインターネットエクスプローラがあります。教育システムでは、インターネットエクスプローラを利用できます。以下の説明では、インターネットエクスプローラを例に取り上げます。



インターネットエクスプローラの起動は、デスクトップ上の  をダブルクリックするか、「スタート」「プログラム」「Internet Explorer」「Internet Explorer」の順にクリックします。インターネットエクスプローラが起動すると、東京電機大学のWebページが表示されます。



2 東京電機大学のWebページ

6 URLの指定

URLの指定は、アドレスの欄に URL を入力しEnterキーを押します。例では、東京電機大学総合メディアセンター(<http://www.mrcl.dendai.ac.jp/>)のWebページを入力しています。






7 リンク


Webページの中の文字にマウスを移動すると、マウスカーソルが指の形に変化する部分があります。これは、他のページへリンクが張られていることを示しており、ここをクリックすると、そのリンク先の情報を表示できます。このように興味本意にマウスを使ってクリックすることによって、次々に情報を表示できます。文字以外にも、画像や画面上の特定の領域にリンクが張ってある場合もあります。




8 その他のボタン

 [戻る]ボタンは、一つ前の画面に戻るときに使います。 [進む]ボタンは

[戻る]ボタンで戻ったとき、一つ先の画面を表示するときに使います。 [ホーム]ボタンは、ブラウザを起動したときに表示される最初のページを表示するときに使

ます。 [更新]ボタンは、WWWサーバ上の情報を更新した時や、何らかのトラブ

ルで正しく表示できなかった時に、もういちど表示をやり直すときに使います。 [中止]は、操作を中断する時に使います。

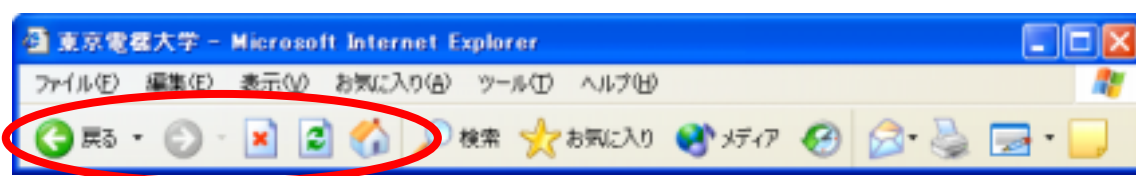

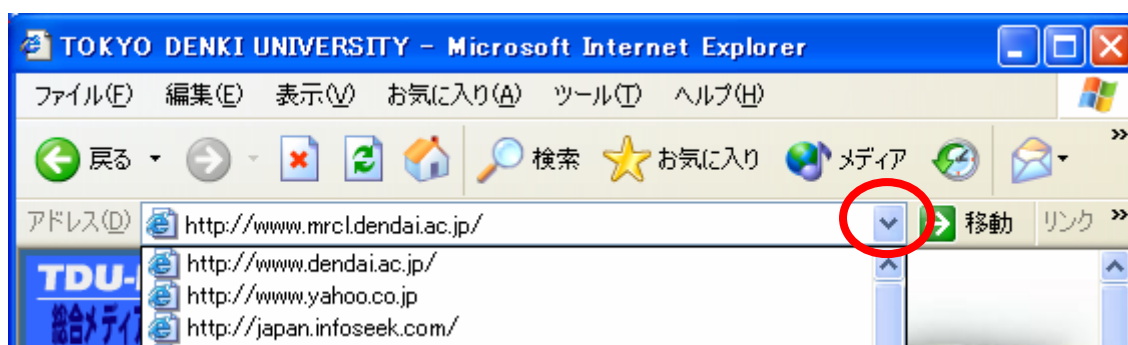


図 5 その他のボタン

 をクリックすると、過去に閲覧したURLの履歴が表示されます。この中から表示したいものを選び、クリックするとWebページを表示できます。



このようにインターネットの世界をブラウザで見てまわることを、ネットサーフィンと言います。

(注意) 教育システムからは、URLの指定によって世界中の情報をアクセス可能になっています。公衆道徳に反するようなアクセスは絶対に行わないよう十分注意して下さい！

9 ポータルサイトの活用

目的のWebページを探すのは大変面倒な作業です。インターネット上には、ポータルサイトと呼ばれるサーバが稼動しており、これを活用すると、すばやく目的のURLを見つけることができます。このサーバには、Webページに関するキーワードが登録されており、利用者が関連するキーワードを入力することによって、目的のURLを絞り込めるようになっています。以下は、yahoo(<http://www.yahoo.co.jp/>)の例です。



図 6 ポータルサイトの例

Yahoo 以外にも、下記のようなポータルサイトがあります。これいがいにも、たくさんあります。みなさんで、自分の気に入ったポータルサイトを見つけてください。

<http://japan.infoseek.com/>

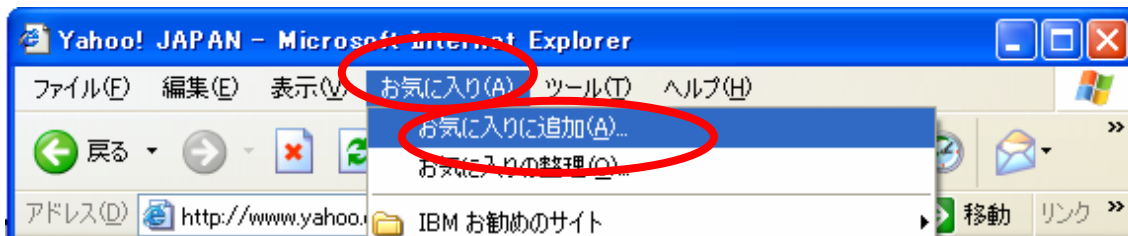
<http://lycos.co.jp/>

<http://www.goo.ne.jp/>

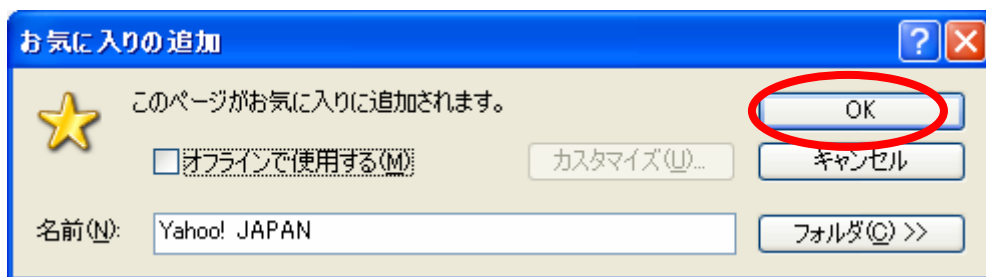
10 お気に入りの活用

気に入ったWebページを見つけたら、そのURLをメモしておくのは大変な作業です。Webページのいくつかは、長いURLを指定する必要があり、文字の転記ミスが発生します。ブラウザには、URLを記録するお気に入りの機能があります。お気に入りにURLを登録するためには、以下のように行います。

Webページを表示します。メニューバーの中から、「お気に入り」「お気に入りに追加」の順にクリックします。



「OK」をクリックします。



「お気に入り」をクリックすると、先ほど登録したWebページのタイトルが表示され、これをクリックするとそのWebページが表示されます。

